掻爬・洗浄術を受けられる患者様へ

患者様用

患者様氏名　　受持医：　　受持看護師：

月日(日時)	／（　）	／（　）	／（　）	／（　）
経過（病日等）	入院	手術当日	術後1日～5日	術後6日～8日
達成目標	◆手術に対する理解ができる ◆手術の準備ができる	◆手術後順調に経過する ◆痛みが軽減するコントロールできる ◆深部静脈血栓症の徴候がない	◆痛みがコントロールできる ◆神経障害・循環障害がない ◆深部静脈血栓症の徴候がない	【終了基準】 ◆痛みがコントロールできる ◆感染の徴候がない ◆神経障害・循環障害がない
治療・薬剤 （点滴・内服）	持参薬の確認をします 抗菌薬の注射のテストがあります 疼痛時鎮痛薬（坐薬）を使用します	特殊薬のみ麻酔科の指示にて服用します 術前に抗菌薬の点滴があります 術後500mLの点滴が2本あります	抗菌薬の点滴が朝・夕あります 疼痛時鎮痛薬（坐薬）を使用します	
処置		創部に管が入っています 弾性ストッキングを装着します	創部の消毒があります（月・水・金・土） 歩行が出来たら弾性ストッキングは除去します	創部の管が抜けます 創部をとめてある金具をはずします
検査		手術中に股関節のエックス線撮影があります	手術後１日目と５日目に 血液検査があります	手術後8日目に股関節のエックス線撮影があります
活動・安静度		手術が終わって3時間はベッド上安静です 3時間たったら、 坐ったりベッドサイドに立てます 6時間たったら歩行器を使用して歩けます		
食事	麻酔科医師の指示に従います	手術までは飲んだり食べたりできません 帰室後、吐き気がなければ水または お茶を飲むことができます その後食事もできます	通常の食事になります	
清潔	看護師が身体を拭きます		看護師が身体を拭きます 	創部確認後シャワー浴が できます
排泄	排便の確認をします	術後尿の管が入っています ベッドサイドに立てたら尿の管が抜けます		
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	医師が入院診療計画について説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 麻酔科医師が診察をいたします 手術室看護師の訪問があります	医師が手術の結果と今後の治療について 説明いたします		医師が病状の説明をいたします 看護師が今後の生活についての 説明をいたします

注1病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあり

国立病院機構熊本医療センター　整形外科　2007.9作成

注2入院期間については現時点で予想される期間です。